

「戦争と医の倫理」検証

医師・研究者ら「進める会」を設立

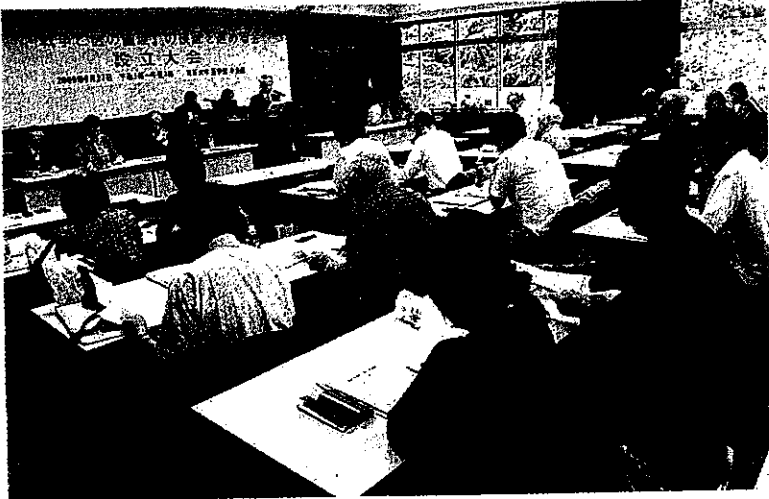
戦争で医師、医学者らが犯した非人道的行為を検証し、これからの医療の発展と平和な

社会づくりに生かそう

と、医療関係者らが27

日、「戦争と医の倫

理」の検証を進める



「『戦争と医の倫理』の検証を進める会」の設立大会＝27日、東京・東大医学部内

会」を設立しました。

東京都文京区の東大

医学部内で開かれた設

立大会には、医師や看

護師を含む医療労働

者、研究者、医学生、

弁護士ら85人が出席し

ました。

採択された設立趣意

書は、「戦時中の医学

者・医師による非人道

的行為に真摯(しん

し)に向き合い教訓を

活(い)かす取り組み

がなされないまま、日

本は21世紀を迎えまし

た」と指摘。「史実を

明らかにし、検証を進

めることは、医の倫理

の確立やこれからの医

学・医療のために不可

欠」であり、そのため

には日本医学会や日本

医師会、各学会や大学が自らの問題として取り組むことが欠かせないと強調しています。

講演した常石敏一神

奈川大教授は、旧日本

軍資料などをもとに当

時の人体実験や生物兵

器について解説。「非

人道的行為が罪の意識

もなく行われていた。

この事実を今につなが

る問題として考えてほ

しい」と話しました。

大会では、石川徹東

京民主医療機関連合会

会長、塩安佳樹東京保

険医協会会長、西山勝

夫滋賀医科大名誉教授

の3氏を代表世話人

に、住江憲勇全国保険

医団体連合会会長を事

務局長に選出しまし

た。